



第3回 深田研講座

「深田研講座」は、地球科学研究に従事する若手研究者および、地質・地盤調査や環境調査、測量調査などの実務に従事する技術者に、地球科学に関する基礎的・応用的知識および実務に関する最新知見・情報・技術を伝え、専門知識・技術力の研鑽の機会となることを目的とした講座です。深田研講座は、これまで開催されていた「深田研ジオフォーラム」を発展的に改組し、多くの方に遠方からも受講していただけるよう、オンライン形式を取り入れ、2023年度に開講しました。

テーマ：地層を読み解く ―堆積相解析事始め―



石川県輪島市鹿磯海岸。2024年能登半島地震で約4m隆起し汀線が250m沖へ（離岸堤のあるところが地震前の汀線）。トレンチ断面に見られる露出した外浜の斜交層理（2025年6月4日撮影）。

講師：

岡崎 浩子 氏

(深田地質研究所 客員研究員)



地層の観察を通じて過去の環境を推定することは、現在や未来の環境変化を理解する上で重要です。本講座では、1コマ目で地層の堆積相解析の基本用語と手法を解説し、約12~13万年前の関東平野（“古東京湾”）の古地理の復元例を紹介し、また、高精度の年代測定がもたらしたその後の展開も紹介します。現在の堆積物情報は過去の環境推定の鍵になります。2コマ目は、洪水や津波などにより形成されたイベント堆積物ほかの特徴をその観察手法も含めて、過去と現在の堆積物から探ります。

2025年7月18日(金) 13:00~16:15

【開催形式】 オンライン配信 (Zoom ウェビナー)

【参加費】 無料 【定員】 300名

【申込期間】 6月17日(火) -7月14日(月) 17:00

【CPD単位】 深田研講座はCPD(継続教育)履修実績として申請できます(3単位)

【プログラム】

13:00-14:30

1. 堆積相解析とは

14:30-14:45 (休憩)

14:45-16:15

2. 過去と現在の堆積物比較

【申込方法】 ご参加には事前登録が必要です。深田研のホームページ (<https://fukadaken.or.jp>) に記載のフォームよりお申し込みください。

【問合せ先】 fgi_event@fgi.or.jp (※問い合わせはメールのみでの対応とさせていただきます)

